

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 042	提案機関名 農業技術センター畜産技術所普及指導課
要望問題名 改良速度向上のための効率的優良後継牛の確保技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 改良速度を向上するためには、性判別精液や性判別受精卵の活用が有効である。しかし、性判別精液・受精卵は受胎率が低くなるとされており、凍結受精卵の受胎率も低いため、なかなか利用者が増えていないのが現状と思われる。 一方、乳牛の高能力化や飼料・飼養環境等にも問題点はある。 そこで、次のことを研究願いたい。 ① 性判別精液・受精卵の作成・保存技術や人工授精・移植技術を改善することによる受胎率向上。 ② ドナーから移植に利用できる受精卵を数多く採取するための、受精卵採取方法等の改善。 ③ レシピエントの状況を簡易に把握できる手法の開発。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	牛の雌雄産み分け技術の確立(平成10～24年度) 性選別精液を利用した後継牛生産技術の開発(平成25～27年度) ルーメン発酵の健全化による乳牛の繁殖性向上技術の開発(平成25～27年度)		
対応の内容等	性判別受精卵の超低温保存は、これまでの試験結果から、実用可能な受胎率が得られていますので、現地技術者への技術伝達に努めます。受精卵採取方法等の改善については、性選別精液の体外受精や過剰排卵処理後の採卵への利用方法、現在試験を行っています。性選別精液の人工授精での利用方法については、現在実施している試験の結果を受けて実施について検討します。 受胎率向上のためのレシピエントの評価手法については、他県において血液生化学成分やふん性状と受胎率の関連性が報告されています。当所では、第一胃内環境の健全化により乳牛の繁殖成績の向上を目指す試験を実施しますので、関連の成果が得られた場合には情報提供を行います。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			

